



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	付属資料
Description	1: お願い状. 2: 世帯調査票. 3: 個人調査票. 4: 単純集計結果 (解説付き)
Relation	現代アイヌの生活と意識 : 2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告書. 小山透編著
Citation	北海道アイヌ民族生活実態調査報告 : Ainu Report, その1 (日本語版・増刷版), 119-158
Issue Date	2012-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/48228
Type	other
File Information	AINUrep01ja_013.pdf



付 属 資 料

- 1 お願い状
- 2 世帯調査票
- 3 個人調査票
- 4 単純集計結果（解説付き）

平成 20 年 10 月 1 日

調査をお願いする皆様へ

北海道大学アイヌ・先住民研究センター
センター長 常本 照樹

学術調査へのご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

北海道大学では、平成 19 年にアイヌ・先住民研究センターを開設し、様々な専門分野の研究者が共同で研究教育に当たっています。また、北海道ウタリ協会と密接な連携・協力体制をとり、アイヌ民族と大学をつなぐ役割も担わせていただいております。

このたび、当センターの事業の一環として、アイヌ民族の方々を対象とした、生活実態調査を実施させていただくことになりました。教育・就労・生活・意識といった面から、社会的にアイヌ民族の生活状況・意識を明らかにすることを目的としています。北海道による調査が過去に行われていますが、調査対象者が少なく、実態を十分に反映しきれていない等の問題が指摘されています。それらの問題を考慮し、より適切に実態を把握できるような調査を行い、今後の研究及びアイヌ民族政策に反映できるようにすることを目指しております。

今回の調査は、できるだけ多くの方々の生活状況・意識を把握するため、ウタリ協会および調査員（アイヌ生活相談員、ウタリ協会の支部長など）の方々にリストアップしていただいた、道内におられる 18 歳以上 85 歳未満のアイヌ民族の方々全員とその世帯員を調査対象としております。ただし、調査対象者のリストは北海道大学には提供されないため、調査対象者の氏名・住所は調査員以外に知られることはありません。

調査方法としては、調査員が皆様のお宅を訪問し、皆様ご自身に調査票の記入をお願いする方法をとらせていただきます。後日、約束した日時に調査員が再度、訪問しますので、回答していただいた世帯票ならびに個人調査票をお渡しいただきますようお願い致します。

お答えいただいた結果はすべて統計的に処理されますので、内容が外部にもれることはございません。

お忙しい中、お手数をおかけしますが、どうか調査の趣旨をおくみとりいただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

【問い合わせ先】

北海道大学アイヌ・先住民研究センター
社会調査プロジェクト担当
教育学研究院教育社会学研究室
教授 小内 透
TEL&FAX(011)706-3093
E-mail soe@edu.hokudai.ac.jp

アイヌ民族生活実態調査 世帯調査票

問1.住所を、地区まで教えてください。

→ () 市・町・村 ()

(札幌) 市 (中央区)
例 (滝川) 市 (文京町)
(平取) 町 (字二風谷)

問2.ご家族についてお聞きします。全員の続柄、年齢(2008年10月1日現在)、性別、同居別居の別を教えてください。

No.	続 柄	年 齢	性 別	同居・別居の別
1	世帯主	歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)
2		歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)
3		歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)
4		歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)
5		歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)
6		歳	1. 男 2. 女	1. 同居 2. 別居(場所)

問3.お住まいは次のどれに当たりますか。

1. 一戸建て持家(土地も所有) 2. 一戸建て持家(借地) 3. 分譲マンション
4. 民間の借家・アパート・マンション 5. 社宅・官舎 6. 公営・公団住宅
7. 間借り 8. その他()

問4.現在、生活保護を受けていますか。

1. 現在受けている 2. 以前受けていたことがある 3. 受けたことはない

問5.就学援助を受けていますか。

1. アイヌの子女を対象とした「高等学校等進学奨励事業」の支援を受けている
2. 「高等学校等進学奨励事業」の支援を以前受けていたことがある
3. その他の就学援助を受けている → (具体的に)
4. その他の就学援助を受けていた → (具体的に)
5. 何も受けていない

問6.世帯全体の年収は税込みで次のどれに近いですか。

- ア. なし イ. 100万円未満 ウ. 100万円以上～200万円未満
- エ. 200万円以上～300万円未満 オ. 300万円以上～400万円未満
- カ. 400万円以上～500万円未満 キ. 500万円以上～600万円未満
- ク. 600万円以上～700万円未満 ケ. 700万円以上～800万円未満
- コ. 800万円以上～900万円未満 サ. 900万円以上～1000万円未満
- シ. 1000万円以上 → () 万円くらい

問7. あなたが 15 歳のころのことを思い出してお答えください。そのころ、あなたのご家族の生活ぶりはいかがでしたか。

1. 苦しかった 2. 多少困る程度 3. 少しゆとりがあった
4. 豊かであった

問8. あなたが 15 歳のころ、あなたのご家庭にあったものすべてに○をつけてください。

1. 持ち家 2. 自家風呂 3. 電気 4. ガス 5. 水道 6. ラジオ
7. テレビ 8. パソコン 9. インターネット設備 10. 冷蔵庫
11. エアコン 12. 自転車 13. オートバイ 14. 自家用車
15. ピアノ 16. 固定電話 17. ファックス 18. 携帯電話
19. どれもなし 20. わからない

※これ以降、問 14 までは問 3（アイヌ民族としての意識）で「1. 常に意識している」「2. 意識することが多い」「3. 時々意識する」のいずれかを選んだ方だけにお聞きします。「4. まったく意識しない」を選んだ方は、問 15 からお答えください。

問9. あなたは、いつ頃、自分自身が「アイヌである」と感じましたか。1 つに○をつけてください。

1. 小学校入学前から（～6 歳くらい） 2. 小学生のころ（7～12 歳くらい）
3. 中学生のころ（13～15 歳くらい） 4. 高校生のころ（16～18 歳くらい）
5. 高校卒業以降（19 歳～）→（具体的に： 歳くらい）
6. いつ頃かわからない

問10. その時、あなたがアイヌであると感じたきっかけは何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 親から聞いた 2. 親以外の家族・親戚から聞いた
3. 近所の人から聞いた 4. 友達から指摘された
5. 学校の先生に指摘された 6. 身体的特徴に気づいた
7. その他（ ）

問11. あなたは、アイヌとして誇りを感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. アイヌの歴史 2. アイヌの文化 3. アイヌ差別との戦い
4. アイヌの偉人たち 5. 身体的特徴 6. その他（ ）
7. 特になし

問12. あなたは、アイヌとして嫌だと感じる点がありますか。当てはまるものすべてに○を付けてください。

1. アイヌの歴史 2. アイヌの文化 3. アイヌ差別の経験
4. 生活水準 5. 身体的特徴 6. その他（ ）
7. 特にない

問13. あなたにアイヌとしての誇りを感じさせたり、嫌だと感じさせたりしたのは誰（何）だと思いますか。影響力が強かった人（もの）をすべて選んでください。

誇りを感じさせた人・もの（ ） 嫌だと感じさせた人・もの（ ）

1. 親 2. 親以外の家族・親戚 3. アイヌの友人・知人
4. アイヌ以外の友人・知人 5. 学校の先生 6. テレビ 7. 本
8. その他（ ） 9. 特にない

問14. あなたは今後、どのように生活していきたいと考えていますか。

1. アイヌとして積極的に生活したい 2. 特に民族は意識せず生活したい
3. 極力アイヌであることを知られずに生活したい
4. その他（ ）

※ これ以降は全員がお答えください

問15. あなたはこれまでにどのような学校に通ってきましたか。通った学校それぞれについて卒業、設置主体、課程などをお答えください。

- a. 保育園→ (1. 通った 2. 通っていない)
- b. 幼稚園→ (1. 通った 2. 通っていない)
- c. 小学校 (尋常小学校) → (1. 通った 2. 通っていない)
- d. 中学校 (高等小学校) → (1. 通った 2. 通っていない)
- e. 高等学校→ (1. 通った 2. 通っていない)
- (旧制中学校
- ・ 高等女学校)
- 卒業 (1. 卒業 2. 中退 3. 在学中)
- 設置 (1. 国・公立 2. 私立 3. 不明)
- 課程 (1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制)
- f. 専門学校→ (1. 通った 2. 通っていない)
- 卒業 (1. 卒業 2. 中退 3. 在学中)
- 設置 (1. 国・公立 2. 私立 3. 不明)

- g. 短大・高専→ (1. 通った 2. 通っていない)
- 卒業 (1. 卒業 2. 中退 3. 在学中)
 - 設置 (1. 国・公立 2. 私立 3. 不明)
 - 課程 (1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制)
- h. 大学→ (1. 通った 2. 通っていない)
- 卒業 (1. 卒業 2. 中退 3. 在学中)
 - 設置 (1. 国・公立 2. 私立 3. 不明)
 - 課程 (1. 全日制 2. 定時制 3. 通信制)
- i. 大学院→ (1. 通った 2. 通っていない)
- 卒業 (1. 卒業 2. 中退 3. 在学中)
 - 設置 (1. 国・公立 2. 私立 3. 不明)

問16. 現在、在学中でない方にお聞きします。あなたはさらに進学したかったですか。

1. 進学したかった → () まで行きたかった
2. 進学しなくなかった

問17. 問16で「1. 進学したかった」を選んだ方にお聞きします。進学をあきらめたのはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 経済的な理由
2. 就職する必要があったから
3. 親に反対されたから
4. 学力の問題
5. その他 ()
6. 特に理由はない

Ⅲ 次に、現在のあなたの生活についてお聞きします。

問18. あなたは、これまでに転職をしたことがありますか。

1. ある → () 回くらい
2. ない
3. 就職したことがない

問19. あなたの仕事（就業形態）は、次のうちどれにあたりますか。あなたが「初めて就いた仕事」「最も長くしていた仕事」「現在の仕事」それぞれについてお教えてください。なお、学生時代のアルバイトは除きます。

初めての仕事 () 最長の仕事 () 現在の仕事 ()

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営者・役員 2. 常時雇用されている一般従業者（サラリーマンなど雇われている人） 3. パート、アルバイト、臨時雇用、季節労働 4. 自営業主（自分で従業員4人以下の店や工場を経営） 5. 家族従業者 6. その他 () 7. 無職 8. 学生（在学中） |
|---|

問20. それぞれの仕事（職業）は次のどれにあたりますか。

初めての仕事（ ） 最長の仕事（ ） 現在の仕事（ ）

1. 事務的職業（総務・営業・人事・経理など事務一般）
2. 保安的職業（警察官・自衛官・消防士、ガードマンなど）
3. 販売的職業（卸・小売、不動産仲介、保険外交など）
4. 技能工・生産工程に関わる職業（工員、建設作業員、大工、自動車整備など）
5. 運輸・通信的職業（運転手、郵便配達、通信士など）
6. 専門・技術的職業（医師・看護師・弁護士・教師・保育士・税理士・技術者など専門的知識や技術を要するもの）
7. 管理的職業（企業・官公庁における課長職以上、議員や経営者を含む）
8. 農林水産的職業（第二種兼業や農水産物加工は含まない）
9. サービス的職業（理容師、美容師、調理師、観光ガイドなど）
10. その他（具体的に ） 11. 無職 12. 学生（在学中）

問21. あなたが現在働いている勤務先の従業員数（本社、支社、工場など含めて）を教えてください。

- ア. 自分 1 人 イ. 2～4 人 ウ. 5～9 人 エ. 10～49 人 オ. 50～99 人
 カ. 100～499 人 キ. 500～999 人 ク. 1000 人以上 ケ. 官公庁
 コ. 無職 サ. 学生（在学中）

問22. 雇用条件についてお聞きします。あなたが現在働いている職場で認められているものを教えてください。

1. 退職金 2. 賞与 3. 雇用保険 4. 労災保険 5. 年休
 6. 育児休暇 7. 住宅手当 8. 通勤手当 9. わからない
 10. どれも認められていない

問23. 現在、仕事をされている方にお聞きします。あなたは転職を考えていますか。

1. 強く考えている 2. 少し考えている 3. あまり考えていない
 4. まったく考えていない 5. わからない

問24. それはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 賃金が低いから 2. 上司と合わないから 3. 人間関係がよくないから
4. 仕事が過酷だから 5. 休みが少ないから
6. やりがいが見いだせないから 7. 他にやりたい仕事があるから
8. アイヌ差別があるから 9. 賃金が高いから 10. 人間関係がよいから
11. 仕事内容がよいから 12. 休みをとれるから 13. やりがいがあるから
14. 他にやりたい仕事がないから 15. その他（ ）
16. 特に理由はない

問25. 現在、あなたの生活ぶりはいかがですか。

1. 苦しい 2. 多少困る程度 3. 少しゆとりがある 4. 豊かである

問26. 次に挙げるもので、現在、あなたの家庭にあるものすべてに○をつけてください。

1. 自家風呂 2. ラジオ 3. テレビ 4. パソコン
5. インターネット設備 6. 冷蔵庫 7. エアコン 8. 自転車
9. オートバイ 10. 自家用車 11. ピアノ 12. 固定電話
13. ファックス 14. 携帯電話 15. どれもなし

問27. あなたは現在困っていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 所得が少ない 2. 負債が多い 3. 自分の健康 4. 家族の健康
5. 結婚 6. 仕事がない 7. 労働状況が悪い 8. 自分の進学の問題
9. 子どもの教育の問題 10. 家族関係 11. 職場・学校の人間関係
12. 近所づきあい 13. 住宅の問題 14. 生きがいが見いだせない
15. アイヌ差別 16. その他（ ）
17. 特に困っていることはない

問28. 困っていることをどなたに相談しますか。当てはまる人すべてに○をつけてください。

1. 家族 2. アイヌの友人・知人 3. アイヌでない友人・知人
4. 職場の上司 5. 職場の同僚 6. 近所の人 7. 学校の先生
8. 民生委員 9. 行政機関 10. アイヌ生活相談員
11. アイヌ職業相談員 12. アイヌ教育相談員
13. その他（ ） 14. 誰にも相談しない

問29. あなたはこの1年間のうち、次のような健康診断を受けましたか。受けたものすべてに○をつけてください。

1. 会社で行う定期健康診断 2. 市町村で行う健康診断
3. 自費で受ける人間ドック 4. その他（ ）
5. 受けていない

問30. ふだん、あなたはたばこを吸いますか。

1. 毎日吸っている→1日（ ）本くらい 2. たまに吸っている
3. かつて吸っていたがやめた 4. 吸っていない

問31. ふだん、あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む 頻度：ア. 毎日 イ. 週（ ）日くらい
2. かつて飲んでいたがやめた ウ. 月（ ）日くらい
3. 飲まない（飲めない） 酒量：清酒に換算して1日に（ ）合くらい

問32. 下記のうち、あなたがこの1年間にしたものすべてに○をつけてください。

1. パチンコ・パチスロ 2. 競馬 3. 競輪 4. 宝くじ
5. サッカーくじ (toto) 6. かつてしていたがこの1年ではしていない
7. これまで一度もしたことがない

問33. あなたは次に挙げる資格をもっていますか。持っているものすべてに○をつけてください。

1. 自動車免許 2. 自動車二種免許 3. 船舶免許 4. 英検（2級以上）
5. 日商簿記 6. 秘書検定 7. ボイラー整備士 8. 溶接士 9. 看護師
10. 理学療法士 11. 保育士 12. 介護福祉士 13. ホームヘルパー
14. ケアマネージャー 15. 調理師 16. 栄養士 17. 理容師
18. 美容師 19. その他（仕事に関わる資格： ）
20. 持っていない

問34. あなたは、次に挙げる年金のうち、どれに加入・受給していますか。

1. 国民年金 2. 共済年金 3. 厚生年金
4. その他の年金（ ） 5. 加入・受給していない

問35. あなたは、次に挙げる健康保険（生命保険は含まない）のうち、どれに加入していますか。

1. 国民健康保険 2. その他の健康保険 3. 加入していない

問36. あなたご自身の年収は税込みで次のどれに近いですか。

- ア. なし イ. 100万円未満 ウ. 100万円以上～200万円未満
 エ. 200万円以上～300万円未満 オ. 300万円以上～400万円未満
 カ. 400万円以上～500万円未満 キ. 500万円以上～600万円未満
 ク. 600万円以上～700万円未満 ケ. 700万円以上～800万円未満
 コ. 800万円以上～900万円未満 サ. 900万円以上～1000万円未満
 シ. 1000万円以上

IV あなたの現在の意識・お考えについてお聞きします

問37. あなたは、社会で成功するのに重要なことは何だと思いますか。当てはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 家柄・親の地位 2. 個人の才能 3. 個人の努力 4. 学歴
 5. 運やチャンス 6. 有力者とのつながり 7. その他（ ）

問38. あなたは、次のような不公平が、今の日本社会にあると思いますか。

	あ る	大 い に	あ る	少 し は	な い	な い	わ か ら
a 性別による不公平	—	—	3	2	1	0	
b 学歴による不公平	—	—	3	2	1	0	
c 職業による不公平	—	—	3	2	1	0	
d 所得・資産による不公平	—	—	3	2	1	0	
e 家柄による不公平	—	—	3	2	1	0	
f 人種・民族による不公平	—	—	3	2	1	0	

V あなたの宗教的信仰とアイヌ文化とのかかわりについてお聞きします。

問39. あなたは特定の信仰をお持ちでしょうか。当てはまるものに○をつけてください
(複数可)。

1. アイヌ固有の信仰 2. 仏教（家の宗旨）
3. 神道 4. キリスト教（宗派）
5. その他の宗教（具体的に） 6. 信仰をもっていない

問40. 下記のアイヌ伝統文化の宗教儀礼を実践したり、聞いたりしたことがありますか。

	知らない	人の話やうわ さ等で知って いる	過去に体験し たことがある	現在も実践し ている
ア. クマ送り	1	2	3	4
イ. クマ以外の動物送り	1	2	3	4
ウ. サケを迎える儀礼	1	2	3	4
エ. 伝統的な婚礼・葬儀	1	2	3	4
オ. 伝統的な地鎮祭・新築祝い	1	2	3	4
カ. 伝統的な先祖供養	1	2	3	4
キ. イナウを捧げる	1	2	3	4
ク. 神々への祈り	1	2	3	4
ケ. 神聖な場所への祈り	1	2	3	4
コ. 海・川・山でのタブーや約束事	1	2	3	4
サ. 器物送り（モノ等を捨てるときに）	1	2	3	4
シ. まじない（天候改善、自然災害を避 ける、体調不良や病気を治す）	1	2	3	4
ス. 占いや霊をおろす人にみてもらう（ト ウス）	1	2	3	4
セ. 夢見を大事にする	1	2	3	4

問41. アイヌ文化の伝承活動・復興活動に参加したり実践したりしたことがありますか。
それぞれ当てはまる数字に○をつけてください。

	現在 関わ っている	が ある	か つて 関わ った こと	関 わ った こと が ない
ア. アイヌ語—————	3………	2………	1	
イ. 口承文芸（ユカラ、ウエペケレ等）—————	3………	2………	1	
ウ. 歌（ウポポ、座り唄等）—————	3………	2………	1	
エ. 楽器（ムックリ、トンコリ等）—————	3………	2………	1	
オ. 踊り—————	3………	2………	1	
カ. 祭事（カムイノミ等）—————	3………	2………	1	
キ. 編み物—————	3………	2………	1	
ク. 刺繍—————	3………	2………	1	
ケ. 織物—————	3………	2………	1	
コ. 伝統的狩猟・農法・漁法—————	3………	2………	1	
サ. 調理・保存法—————	3………	2………	1	
シ. 木彫—————	3………	2………	1	
ス. 自然観察会（エコツアー等）—————	3………	2………	1	

問42. 上記の活動のうち、今後、関わりたいと思っているものについて、いくつでも当てはまる記号を記入してください。

[]

問43. あなたにとって、「アイヌプリ」とはどのようなことを意味しますか。

1. 分からない

2. 次のようなことだと思う（以下に、お考えをご自由にお書きください）

VI 将来についてお聞きします。

問44. 現在お住まいのところにこれからもずっと住みたいと思いますか。

1. 住みたい 2. できれば住みたい 3. できれば住みたくない
4. 住みたくない 5. わからない

問45. 住みたい、あるいは住みたくない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 生活環境がよいから 2. 人間関係がよいから 3. 親の面倒をみるため
4. 土地や家があるから 5. アイヌ差別がないから
6. うつる場所がないから 7. 生活環境が悪いから 8. 人間関係が悪いから
9. 別の場所に土地や家があるから 10. アイヌ差別があるから
11. 転勤があるから 12. 就職するから 13. よい仕事がないから
14. 交通の便が悪いから 15. 結婚するから
16. その他（ ） 17. 特に理由はない

問46. あなたのお子さんには、どの学校まで進学してほしいですか。お子さんがいらっしゃる方は、いる場合を想像してお答えください。

1. 中学校 2. 高等学校 3. 専門学校
4. 短期大学・高等専門学校（高専） 5. 大学 6. 大学院
7. その他（ ） 8. わからない

問47. 次に挙げるもののうち、あなたが日頃心がけているのはどのようなことですか。いちばん近いものに1つだけ○をつけてください。

1. その日その日を、自由に楽しく過ごす
2. しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く
3. 身近な人たちと、なごやかな毎を送る
4. みんなと力を合わせて、世の中をよくする
5. その他（ ）
6. わからない

問48. 下記のアイヌ民族に関する施策のうち、あなたの考えに近いものを 3 つまで 選び、その番号に○をつけてください。

1. アイヌ文化を学び、研究するための国立センターを設置する
2. アイヌ語・アイヌ文化などを学校教育に取り入れる
3. アイヌ民族を対象として農林水産商工業などを振興する
4. アイヌ民族の雇用対策を拡充する
5. アイヌ民族に対して高校・大学進学や学力向上への支援を拡充する
6. アイヌ民族が国有地・道有地などを自由に利用できるようにする
7. アイヌ民族が鮭などを捕獲できるよう規制緩和をはかる
8. アイヌ民族への差別が起こらない人権尊重の社会をつくる
9. アイヌ政策を審議するための常設機関を国及び地方に設ける
10. 民族特別議席など、国政・地方政治にアイヌ民族の声を反映させる仕組みを作る
11. アイヌ民族の土地・資源に対して補償を行う
12. アイヌ民族のみを対象にした特別な政策は行わない
13. その他（ ）

最後に、本調査や北海道大学アイヌ・先住民研究センター、アイヌ民族の今後などに関してご意見がありましたら是非お聞かせください。

質問は以上です。ありがとうございました。

単純集計結果

<世帯調査>

配布数=3,438 有効回収数=2,903 有効回収率=84.4%

1. 基本データ：支部

	札幌	江別	千歳	恵庭	八雲	長万部	旭川	豊富
実 数	284	14	68	17	125	39	18	7
構成比	9.8	0.5	2.3	0.6	4.3	1.3	0.6	0.2

	網走	紋別	室蘭	苫小牧	登別	伊達	豊浦	洞爺湖
実 数	16	11	45	193	45	84	21	17
構成比	0.6	0.4	1.6	6.6	1.6	2.9	0.7	0.6

	壮瞥	白老	追分	むかわ	平取	新冠	新ひだか	三石
実 数	7	276	10	232	191	84	173	37
構成比	0.2	9.5	0.3	8.0	6.6	2.9	6.0	1.3

	浦河	様似	えりも	帯広	音更	上士幌	芽室	幕別
実 数	141	82	154	96	5	4	26	14
構成比	4.9	2.8	5.3	3.3	0.2	0.1	0.9	0.5

	本別	浦幌	釧路	弟子屈	阿寒	鶴居	白糠	根室
実 数	10	38	72	23	42	1	46	21
構成比	0.3	1.3	2.5	0.8	1.4	0.0	1.6	0.7

	標津	未組織地区	合計
実 数	94	20	2,903
構成比	3.2	0.7	100.0

2. 基本データ：居住地

	札幌市	小樽市	旭川市	室蘭市	釧路市	帯広市	岩見沢市	網走市
実 数	286	2	20	47	115	95	2	16
構成比	9.9	0.1	0.7	1.6	4.0	3.3	0.1	0.6

	苫小牧市	美瑛市	江別市	紋別市	根室市	千歳市	登別市	恵庭市
実 数	194	1	14	11	23	68	45	17
構成比	6.7	0.0	0.5	0.4	0.8	2.3	1.6	0.6

	伊達市	北広島市	石狩市	当別町	八雲町	長万部町	岩内町	南幌町
実 数	82	4	4	1	125	39	1	1
構成比	2.8	0.1	0.1	0.0	4.3	1.3	0.0	0.0

	長沼町	豊富町	豊浦町	壮瞥町	白老町	追分町	厚真町	洞爺湖町
実 数	1	7	21	7	275	10	3	17
構成比	0.0	0.2	0.7	0.2	9.5	0.3	0.1	0.6

付属資料 4

	むかわ町	平取町	新冠町	浦河町	様似町	えりも町	新ひだか町	音更町
実 数	229	192	85	140	82	154	206	6
構成比	7.9	6.6	2.9	4.8	2.8	5.3	7.1	0.2

	上士幌町	新得町	芽室町	幕別町	本別町	足寄町	浦幌町	弟子屈町
実 数	4	1	26	14	10	1	38	23
構成比	0.1	0.0	0.9	0.5	0.3	0.0	1.3	0.8

	鶴居村	白糠町	標津町	合計
実 数	1	45	92	2,903
構成比	0.0	1.6	3.2	100.0

※近年、合併をした市町村は合併後の地名で統一した。「釧路市」の中には一部「釧路町」居住者が含まれている可能性がある。

3. 家族数

	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人以上	無回答	合計
実 数	484	718	589	530	360	169	41	12	2,903
構成比	16.7	24.7	20.3	18.3	12.4	5.8	1.4	0.4	100.0

2人世帯、3人世帯が多い。10人家族が最も大きな世帯であった。

4. 年齢

	0 歳代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
実 数	428	1,180	1,322	1,083	1,318	1,607	1,153	574
構成比	4.8	13.3	14.9	12.2	14.9	18.2	13.0	6.5

	80歳代	90歳代	合計	平均
実 数	160	22	8,847	41.5歳
構成比	1.8	0.2	100.0	-

5. 性別

	男性	女性	合計
実 数	4,296	4,399	8,695
構成比	49.4	50.6	100.0

6. 同居・別居

	同居	別居	合計
実 数	6,417	1,184	7,601
構成比	84.4	15.6	100.0

7. お住まいは次のどれに当たりますか。

	一戸建て持家 (土地も所有)	一戸建て持家 (借地)	分譲 マンション	民間の借家	社宅・官舎	公営・ 公団住宅	間借り	その他
実 数	1,575	284	19	334	31	384	24	11
構成比	54.3	9.8	0.7	11.5	1.1	13.2	0.8	0.4

	無回答	合計
実 数	241	2,903
構成比	8.3	100.0

「一戸建て持家（土地も所有）」が54.3%と半数を超えている。次いで「公営・公団住宅」が13.2%と多かった。

8. 現在、生活保護を受けていますか。

	現在 受けている	以前受けてい たことがある	受けたことは ない	無回答	合計
実 数	152	140	2,319	292	2,903
構成比	5.2	4.8	79.9	10.1	100.0

生活保護を「現在受けている」世帯は全体の5.2%、「以前受けていたことがある」のは4.8%であった。なお、平成18年度の生活保護の被保護世帯比率は、北海道で3.5%、全国で2.1%である。

9. 就学援助は受けていますか。（複数回答）

	アイヌの子女を対象 とした「高等学校等 進学奨励事業」の 支援を受けている	「高等学校等進学奨 励事業」の支援を以 前受けていたことが ある	その他の就学 援助を受けて いる	その他の就学 援助を受けて いた	何も受けて いない	無回答	データ数
実 数	357	1,027	70	86	989	464	2,903
比 率	12.3	35.4	2.4	3.0	34.1	16.0	100.0

「高等学校等進学奨励事業」の支援を受けたことがある、あるいは現在受けている世帯は全体の47.7%に及ぶ。他の就学援助の利用率は5.4%であり、差が見られた。

10. 世帯全体の年収は税込みで次のどれに近いですか。

	なし	100万円未満	100万円～ 200万円未満	200万円～ 300万円未満	300万円～ 400万円未満	400万円～ 500万円未満	500万円～ 600万円未満	600万円～ 700万円未満
実 数	92	195	432	567	409	280	177	102
構成比	3.2	6.7	14.9	19.5	14.1	9.6	6.1	3.5

	700万円～ 800万円未満	800万円～ 900万円未満	900万円～ 1000万円未満	1000万円以上	無回答	合計	平均
実 数	71	40	60	100	378	2,903	355.8万円
構成比	2.4	1.4	2.1	3.4	13.0	100.0	369.2万円

※「平均」上段＝全体の平均、下段＝年収なしを除いた所得者の平均。

世帯全体の年収は355.8万円であった。しかし、「200万円以上300万円未満」のカテゴリーが19.5%と最も多くなっている。

＜個人調査＞

配布数=7,306 有効回収数=5,703 有効回収率=78.1%

1. 基本データ：支部

	札幌	江別	千歳	恵庭	八雲	長万部	旭川	豊富
実 数	507	36	131	54	305	85	30	14
構成比	8.9	0.6	2.3	0.9	5.3	1.5	0.5	0.2

	網走	紋別	室蘭	苫小牧	登別	伊達	豊浦	洞爺湖
実 数	35	14	82	362	75	191	30	19
構成比	0.6	0.2	1.4	6.3	1.3	3.3	0.5	0.3

	壮瞥	白老	追分	むかわ	平取	新冠	新ひだか	三石
実 数	11	586	11	643	354	125	272	70
構成比	0.2	10.3	0.2	11.3	6.2	2.2	4.8	1.2

	浦河	様似	えりも	帯広	音更	上士幌	芽室	幕別
実 数	267	66	438	171	5	8	42	27
構成比	4.7	1.2	7.7	3.0	0.1	0.1	0.7	0.5

	本別	浦幌	釧路	弟子屈	阿寒	鶴居	白糠	根室
実 数	15	99	72	34	59	2	74	48
構成比	0.3	1.7	1.3	0.6	1.0	0.0	1.3	0.8

	標津	未組織地区	合計
実 数	185	49	5,703
構成比	3.2	0.9	100.0

最も回収数が多かったのは「むかわ」支部の643人。加えて「白老」支部と「札幌」支部の3支部が500人を超えている。胆振、日高の支部で回収数が多い。

2-1. 性別

	男性	女性	不明	合計
実 数	2,795	2,885	23	5,703
構成比	49.0	50.6	0.4	100.0

2-2. 年齢

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	不明	合計	平均
実 数	160	751	707	1,089	1,378	982	490	83	63	5,703	48.81歳
構成比	2.8	13.2	12.4	19.1	24.2	17.2	8.6	1.5	1.1	100.0	-

2-3. 年齢6階層

	30歳未満	30～40歳未満	40～50歳未満	50～60歳未満	60～70歳未満	70歳以上	不明	合計
実 数	911	707	1,089	1,378	982	573	63	5,703
構成比	16.0	12.4	19.1	24.2	17.2	10.0	1.1	100.0

3. あなたのご両親、祖父母などの中にアイヌの血を引く方はいますか。(複数回答)

	父親	父方祖父	父方祖母	母親	母方祖父	母方祖母	養父	養母
実 数	2,386	1,263	1,266	2,385	1,226	1,472	114	92
比 率	41.8	22.1	22.2	41.8	21.5	25.8	2.0	1.6

	配偶者	いない	わからない	その他	無回答	データ数
実 数	1,851	234	478	50	175	5,703
比 率	32.5	4.1	8.4	0.9	3.1	100.0

父親あるいは母親がアイヌの血筋であるという人が41.8%ずつであった。数字の上ではほぼ同数となっているが、両親ともアイヌの血を引いているという人は、半数の1,080人である。「配偶者」がアイヌという人は32.5%とおおよそ3分の1であった。

4. あなたはご自分をアイヌ民族として意識することはありますか。

	常に意識している	意識することが多い	時々意識する	まったく意識しない	無回答	合計
実 数	725	598	1,402	2,520	458	5,703
構成比	12.7	10.5	24.6	44.2	8.0	100.0

アイヌとしての民族意識は、「常に意識している」人が12.7%いる一方で、「まったく意識しない」という人が44.2%と半数近くいる。

5-1. あなたはご結婚されていますか。

	結婚している	死別	離別	結婚したことはない	無回答	合計
実 数	3,520	318	419	1,078	368	5,703
構成比	61.7	5.6	7.3	18.9	6.5	100.0

5-2. (「結婚している」「死別」「離別」の方) 相手の方は。

	アイヌ	アイヌ以外の日本人	その他	無回答	合計
実 数	1,872	2,269	94	22	4,257
構成比	44.0	53.3	2.2	0.5	100.0

現時点で結婚している人は全体の61.7%で、死別、離別を含めるとおおよそ4分の3が結婚経験者である。相手は「アイヌ以外の日本人」が53.3%、「アイヌ」が44.0%となっている。

6-1. あなたが生まれたところはどこですか。

	道内	道外	国外	無回答	合計
実 数	5,221	253	43	186	5,703
構成比	91.5	4.4	0.8	3.3	100.0

付属資料 4

6－2．出生地（道内）(N=5,703)

	むかわ町	白老町	平取町	えりも町	新ひだか町	札幌市	八雲町	浦河町
実 数	578	431	359	330	321	274	244	230
構成比	10.1	7.6	6.3	5.8	5.6	4.8	4.3	4.0

	苫小牧市	帯広市	伊達市	室蘭市	釧路市	標津町	千歳市	新冠町
実 数	188	137	136	102	100	100	95	95
構成比	3.3	2.4	2.4	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7

	長万部町	白糠町	様似町	日高町	浦幌町	根室市	登別市	旭川市
実 数	87	86	85	78	62	59	56	52
構成比	1.5	1.5	1.5	1.4	1.1	1.0	1.0	0.9

	豊浦町	芽室町	函館市	小樽市	弟子屈町	洞爺湖町	夕張市	網走市
実 数	35	35	32	31	29	28	27	23
構成比	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4

	岩見沢市	北見市	本別町	美瑛市	恵庭市	石狩市	厚真町	音更町
実 数	19	17	16	15	15	14	14	14
構成比	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2

	幕別町	紋別市	留萌市	森町	広尾町	別海町	足寄町
実 数	13	12	11	11	11	11	10
構成比	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

人数	市町村名
9	芦別市、江別市、赤平市、安平町、羅臼町
8	上士幌町、池田町
7	稚内市、三笠市
6	滝川市、北斗市、余市町、大樹町
5	歌志内市、富良野市、羽幌町、豊富町、斜里町
4	士別市、名寄市、深川市、北広島市、鹿追町、せたな町、寿都町、増毛町、大空町、厚岸町、標茶町
3	砂川市、松前町、福島町、江差町、俱知安町、岩内町、泊村、栗山町、下川町、美幌町、壮瞥町、釧路町
2	木古内町、上ノ国町、今金町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、京極町、積丹町、古平町、上砂川町、南富良野町、苫前町、天塩町、猿払村、置戸町、遠軽町、湧別町、新得町、清水町、陸別町、中標津町
1	当別町、七飯町、鹿部町、奥尻町、留寿都村、喜茂別町、共和町、神恵内村、仁木町、奈井江町、長沼町、愛別町、上川町、中川町、初山別村、遠別町、礼文町、小清水町、西興部村、士幌町、中札内村、豊頃町、鶴居村

6－3．出生地（道外・国外）

	青森県	樺太	岩手県	東京都	秋田県	神奈川県	大阪府	福島県
実 数	43	30	21	20	17	14	9	8
構成比	0.8	0.5	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1

	宮城県	千葉県	静岡県	愛知県	埼玉県	その他・不明	無回答
実 数	7	7	7	7	6	35	392
構成比	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.6	6.9

人数	都道府県名・国名・地域名
5	群馬県、京都府、宮崎県、鹿児島県
4	山形県、広島県、福岡県、長崎県
3	茨城県、栃木県、新潟県、長野県、満州
2	富山県、石川県、島根県、山口県、香川県、熊本県、中国、アメリカ、国後島
1	山梨県、岐阜県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、岡山県、徳島県、高知県、大分県、択捉島、フィリピン、朝鮮、ロシア

生まれたところは道内が圧倒的に多く91.5%を占める。具体的な地名を見ると、現在の支部と同じく「むかわ町」や「白老町」が多い。「札幌市」は4.8%に過ぎず、札幌への人口移動があることがわかる。

道外生まれでは「青森県」「岩手県」「秋田県」などの東北地方北部や「東京都」「神奈川県」などの大都市圏が多い。高齢者に「樺太」出身者が30人、北方領土出身者が3人いた。

※合併前の住所は、現在の住所に直して集計している。

7-1. あなたのご両親が最後に卒業（中退）された学校はどれですか。（父親）

	小学校 (尋常小学校)	中学校 (高等小学校)	高等学校 (旧制中学校)	専門学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他
実 数	1,580	1,574	802	76	23	95	2	45
構成比	27.7	27.6	14.1	1.3	0.4	1.7	0.0	0.8

	わからない	無回答	合計
実 数	1,027	479	5,703
構成比	18.0	8.4	100.0

7-2. あなたのご両親が最後に卒業（中退）された学校はどれですか。（母親）

	小学校 (尋常小学校)	中学校 (高等小学校)	高等学校 (高等女学校)	専門学校	短期大学・ 高等専門学校	大学	大学院	その他
実 数	1,608	1,538	878	101	33	17	3	59
構成比	28.2	27.0	15.4	1.8	0.6	0.3	0.1	1.0

	わからない	無回答	合計
実 数	1,017	449	5,703
構成比	17.8	7.9	100.0

両親とも、「小学校（尋常小学校）」「中学校（高等小学校）」までしか行っていない人が半数を占める。また高等教育機関への進学率が父親2%強、母親1%程度と極めて低い。

8-1. (あなたが15歳のころ) あなたのご家族の生活ぶりはいかがでしたか。

	苦しかった	多少困る程度	少しゆとりが あった	豊かであった	無回答	合計
実 数	2,591	1,648	938	185	341	5,703
構成比	45.4	28.9	16.4	3.2	6.0	100.0

8-2. 世代別

	苦しかった	多少困る程度	少しゆとりがあった	豊かであった	合計
30歳未満	20.7	42.7	29.5	7.1	850
30～40歳未満	32.3	37.7	25.0	5.0	665
40～50歳未満	41.2	35.6	20.4	2.9	1,052
50～60歳未満	57.5	27.2	13.4	1.9	1,305
60～70歳未満	67.7	22.4	7.4	2.5	930
70歳以上	71.6	16.0	10.1	2.3	514
合計	48.4	30.7	17.5	3.4	5,316

15歳のころ、生活が「苦しかった」人は45.4%であった。世代別にみると、若い世代ほど生活はよい実感があるようである。ただし、30歳未満のカテゴリーでも「苦しかった」と「多少困る程度」が63.4%と3分の2近くになっている。

9-1. (あなたが15歳のころ) あなたのご家庭にあったもの。(複数回答)

	持ち家	自家風呂	電気	ガス	水道	ラジオ	テレビ	パソコン
実数	3,817	4,003	4,805	3,760	3,887	3,926	3,738	229
比率	66.9	70.2	84.3	65.9	68.2	68.8	65.5	4.0

	インターネット設備	冷蔵庫	エアコン	自転車	オートバイ	自家用車	ピアノ	固定電話
実数	142	3,399	71	3,703	543	2,196	191	2,979
比率	2.5	59.6	1.2	64.9	9.5	38.5	3.3	52.2

	ファックス	携帯電話	どれもない	わからない	無回答	データ数
実数	370	489	72	84	220	5,703
比率	6.5	8.6	1.3	1.5	3.9	100.0

9-2. 世代別

	持ち家	自家風呂	電気	ガス	水道	ラジオ	テレビ	パソコン	インターネット設備	冷蔵庫	エアコン
30歳未満	65.9	92.6	99.4	98.4	99.1	75.7	93.9	23.2	14.8	95.0	4.8
30～40歳未満	63.0	84.2	98.7	96.8	97.7	78.4	92.6	2.3	0.9	93.2	2.2
40～50歳未満	67.6	80.1	98.0	93.2	94.8	78.2	91.8	0.2	0.1	89.7	0.8
50～60歳未満	74.6	67.6	92.1	69.8	69.6	74.0	76.2	0.3	0.2	56.5	0.2
60～70歳未満	73.4	59.2	76.0	25.4	33.1	69.1	25.3	0.0	0.0	16.8	0.2
70歳以上	68.8	50.0	44.0	8.4	12.7	41.0	3.9	0.0	0.0	6.3	0.0
合計	69.6	73.0	87.7	68.7	70.9	71.5	68.2	4.2	2.6	62.0	1.3

	自転車	オートバイ	自家用車	ピアノ	固定電話	ファックス	携帯電話	どれもない	わからない	データ数
30歳未満	88.0	8.2	88.1	11.7	92.3	33.4	49.3	0.0	0.6	881
30～40歳未満	83.5	11.9	71.6	6.4	89.1	7.3	4.9	0.0	0.1	689
40～50歳未満	77.7	10.3	54.6	3.0	80.4	1.0	0.3	0.2	0.3	1,065
50～60歳未満	64.5	14.8	20.6	0.5	40.7	0.4	0.5	0.6	0.8	1,321
60～70歳未満	51.1	6.7	4.4	0.2	12.2	0.2	0.2	2.8	2.5	944
70歳以上	29.7	2.8	2.2	0.4	3.4	0.0	0.0	6.7	7.5	536
合計	67.5	9.9	40.0	3.5	54.3	6.7	8.8	1.3	1.5	5,436

世代別にみても、世代が若くなるにしたがって着々と家庭の「インフラ」が整ってくる様子がわかる。ただし、「持ち家」は世代が若いほど少ない。

10. あなたはいつ頃、自分自身がアイヌであると感じましたか。

	小学校入学 前から	小学生のころ	中学生のころ	高校生のころ	高校卒業以降	わからない	無回答	合計
実 数	505	1,027	507	140	144	292	110	2,725
構成比	18.5	37.7	18.6	5.1	5.3	10.7	4.0	100.0

11. その時、あなたがアイヌであると感じたきっかけは何ですか。(複数回答)

	親から 聞いた	親以外の 家族・親戚 から聞いた	近所の人 から聞いた	友達から 指摘された	学校の先生 に指摘 された	身体的特徴 に気づいた	その他	無回答	データ数
実 数	1,364	494	175	644	68	443	229	140	2,725
比 率	50.1	18.1	6.4	23.6	2.5	16.3	8.4	5.3	100.0

アイヌとしての自覚を持つ時期は「小学生のころ」が37.7%と最も多い。中学校を卒業するころには、およそ4人に3人が自分はアイヌであることを意識しているようである。意識するきっかけとなったのは、「親から」が半数と圧倒的に多く、続いて「友達」が23.6%と多くなっている。

12. あなたは、アイヌとして誇りを感じる点がありますか。(複数回答)

	アイヌの 歴史	アイヌの 文化	アイヌ 差別との 戦い	アイヌの 偉人たち	身体的 特徴	その他	特にない	無回答	データ数
実 数	891	1,180	607	465	152	54	807	145	2,725
比 率	32.7	43.3	22.3	17.1	5.6	2.0	29.6	5.3	100.0

13. あなたは、アイヌとして嫌だと感じる点がありますか。(複数回答)

	アイヌの 歴史	アイヌの 文化	アイヌ 差別の 経験	生活水準	身体的 特徴	その他	特にない	無回答	データ数
実 数	70	60	1,202	554	882	50	793	134	2,725
比 率	2.6	2.2	44.1	20.3	32.4	1.8	29.1	4.9	100.0

アイヌとして誇りを感じることは、「文化」が43.3%、「歴史」が32.7%と多くなっている。その一方で、「差別の経験」(44.1%)や「身体的特徴」(32.4%)が嫌な点として多くあげられている。

付属資料 4

14－１．あなたにアイヌとしての誇りを感じさせたのは誰（何）ですか。（複数回答）

	親	親以外の 家族・親戚	アイヌの友 人・知人	アイヌ以外 の友人・知人	学校の先生	テレビ	本	その他
実 数	673	240	236	60	29	89	78	36
比 率	24.7	8.8	8.7	2.2	1.1	3.3	2.9	1.3

	特にない	無回答	データ数
実 数	643	946	2,725
比 率	23.6	34.7	100.0

14－２．あなたにアイヌとして嫌だと感じさせたのは誰（何）ですか。（複数回答）

	親	親以外の 家族・親戚	アイヌの友 人・知人	アイヌ以外 の友人・知人	学校の先生	テレビ	本	その他
実 数	43	82	157	716	134	139	37	75
比 率	1.6	3.0	5.8	26.3	4.9	5.1	1.4	2.8

	特にない	無回答	データ数
実 数	694	936	2,725
比 率	25.5	34.3	100.0

誇りを感じさせた者・人は親が24.7%と最も多かった。嫌だと感じさせた者・人では、「アイヌ以外の友人・知人」が26.3%と最も多く、これはいじめや差別、あるいは比較による劣等感などが考えられる。

15．あなたは今後、どのように生活していきたいと考えていますか。

	アイヌとして 積極的に 生活したい	特に民族は 意識せずに 生活したい	極力アイヌで あることを 知られずに 生活したい	その他	無回答	合計
実 数	464	1,872	144	45	200	2,725
構成比	17.0	68.7	5.3	1.7	7.3	100.0

「特に民族は意識せずに生活したい」が68.7%と最も多かった。「アイヌとして積極的に生活したい」という人は17.0%であった。

16－１．あなたはこれまでにどのような学校に通ってきましたか。（通ったことのある人数）

	保育所	幼稚園	小学校 (尋常小学校)	中学校 (高等小学校)	高等学校 (旧制中学校・ 高等女子学校)	専門学校	短大・高専	大学	大学院
実 数	1,890	1,075	4,988	4,813	3,145	652	188	251	12
経験率	33.1	18.8	98.9	95.7	68.4	19.8	5.9	7.9	0.4
N	5,703	5,703	5,046	5,027	4,595	3,289	3,165	3,166	3,029

16－２．世代別経験率

	保育所	幼稚園	小学校 (尋常小学校)	中学校 (高等小学校)	高等学校 (旧制中学校・ 高等女学校)	専門学校	短大・高専	大学	大学院
30歳未満	558	361	850	852	819	162	59	123	3
	79.4	60.4	99.9	99.9	95.2	26.7	10.3	20.2	0.6
30～40歳未満	431	240	649	650	557	126	42	39	3
	76.8	56.1	99.8	99.7	87.3	26.7	9.5	9.0	0.7
40～50歳未満	566	255	1,014	1,021	794	147	35	29	2
	65.5	39.5	99.6	99.4	79.8	20.6	5.2	4.3	0.3
50～60歳未満	275	167	1,202	1,218	623	150	30	33	1
	29.4	19.9	98.9	98.8	57.6	19.7	4.1	4.6	0.1
60～70歳未満	39	39	797	773	247	37	17	19	3
	6.7	6.9	97.8	92.5	37.3	7.7	3.5	4.0	0.6
70歳以上	10	2	438	265	75	21	4	3	0
	3.3	0.7	95.6	68.1	23.5	8.9	1.7	1.3	0.0
合計	1,879	1,064	4,950	4,779	3,115	643	187	246	12
	47.7	31.6	98.9	95.8	68.4	19.7	6.0	7.8	0.4

高等学校までは68.4%が通っているが、高校卒業後になると「専門学校」でも19.8%、「短大・高専」が5.9%、大学が7.9%と急激に通ったことのある人数が減っている。

世代が若くなると高校経験率は高くなる。30歳未満の世代に関しては95.2%で、全国平均の96.0%と同様ほぼ全入となっている。一方で大学への進学率は、30歳未満でも20.2%で、同世代の平均42.2%と比較して20ポイント以上低くなっている。

※全国平均は文部科学省「学校基本調査」より作成。ただし、同世代の平均は、当該世代の進学率の平均にもとづいて算出した。

16－３．高等学校（旧制中学校・高等女学校）(N=3,145)

	卒業			設置			課程		
	卒業	中退	在学中	国公立	私立	不明	全日制	定時制	通信制
実 数	2,242	337	41	1,420	369	12	1,582	239	32
経験率	71.3	10.7	1.3	45.2	11.7	0.4	50.3	7.6	1.0

※Nには無回答が含まれるが、表では省略してある（以下、16－４～７まで同様）。

７割弱の高等学校進学者のうち、少なくとも10.7%は中退している。また、進学先の高等学校も、少なくとも7.6%は定時制であった。なお、高等学校生徒全体に占める定時制高校生徒の割合は年代によって大きく異なるが、平成20年度の北海道で3.6%（143,140人中5,395人）である。

16－４．専門学校（N=652）

	卒業			設置		
	卒業	中退	在学中	国公立	私立	不明
実 数	511	62	26	135	174	35
経験率	78.4	9.5	4.0	20.7	26.7	5.4

付属資料 4

16－5．短大・高専（N=188）

	卒業			設置			課程		
	卒業	中退	在学中	国公立	私立	不明	全日制	定時制	通信制
実 数	139	17	16	39	78	3	101	5	3
経験率	73.9	9.0	8.5	20.7	41.5	1.6	53.7	2.7	1.6

16－6．大学（N=251）

	卒業			設置			課程		
	卒業	中退	在学中	国公立	私立	不明	全日制	定時制	通信制
実 数	120	48	67	48	131	1	148	10	15
経験率	47.8	19.1	26.7	19.1	52.2	0.4	59.0	4.0	6.0

16－7．大学院（N=12）

	卒業			設置		
	卒業	中退	在学中	国公立	私立	不明
実 数	4	1	2	6	1	0
経験率	33.3	8.3	16.7	50.0	8.3	0.0

高等学校以降の高等教育機関への進学率はぐっと下がり、その中でもなお、「専門学校」で9.5%、「短大・高専」で9.0%の中途退学者が出ている。四年制大学では中退率はさらに10ポイントあがり、19.1%であった。

17－1．（現在、在学中でない方）あなたはさらに進学したかったですか。

	進学 したかった	進学したく なかった	無回答	合計
実 数	1,793	2,652	1,109	5,554
構成比	32.3	47.7	20.0	100.0

17－2．（進学したかった方）どこまで進学したかったですか。

	小学校	中学校	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院	その他
実 数	11	54	576	124	60	548	26	6
構成比	0.6	3.0	32.1	6.9	3.3	30.6	1.5	0.3

	無回答	合計
実 数	388	1,793
構成比	21.6	100.0

18．（進学したかった方）進学をあきらめたのはなぜですか。（複数回答）

	経済的な 理由	就職する必要 があったから	親に反対 されたから	学力の問題	その他	特に理由は ない	無回答	データ数
実 数	1,364	441	192	244	92	55	33	1,793
比 率	76.1	24.6	10.7	13.6	5.1	3.1	1.8	100.0

さらに上の学校へ「進学したかった」という32.3%の人々のうち、4分の3にあたる76.1%は「経済的な理由」で進学を断念している。また、「就職する必要があったから」という理由も経済的な問題の一環といえる。

19. あなたは、これまでに転職をしたことがありますか。

	ある	ない	就職したことがない	無回答	合計
実 数	3,311	1,459	260	673	5,703
構成比	58.1	25.6	4.6	11.8	100.0

20-1. 就業形態（初めての仕事）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	パート・アルバイト・臨時雇用・季節労働	自営業主	家族従業者	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	75	2,215	1,371	363	343	56	47	45	1,188	5,703
構成比	1.3	38.8	24.0	6.4	6.0	1.0	0.8	0.8	20.8	100.0

20-2. 職業（初めての仕事）

	事務的職業	保安的職業	販売的職業	技能工・生産工程に関わる職業	運輸・通信的職業	専門・技術的職業	管理的職業	農林水産的職業
実 数	585	81	515	1,224	158	293	5	782
構成比	10.3	1.4	9.0	21.5	2.8	5.1	0.1	13.7

	サービスの職業	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	619	40	43	46	1,312	5,703
構成比	10.9	0.7	0.8	0.8	23.0	100.0

初職は、就業形態では「常時雇用されている一般従業者」（38.8%）が、職業では「技能工・生産工程に関わる職業」（21.5%）が最も多い。次いで「農林水産的職業」（13.7%）「サービスの職業」（10.9%）が多かった。

21-1. 就業形態（最長の仕事）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	パート・アルバイト・臨時雇用・季節労働	自営業主	家族従業者	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	127	1,780	1,272	549	407	48	47	44	1,429	5,703
構成比	2.2	31.2	22.3	9.6	7.1	0.8	0.8	0.8	25.1	100.0

付属資料 4

21-2. 職業（最長の仕事）

	事務的職業	保安的職業	販売的職業	技能工・生産工程に関わる職業	運輸・通信的職業	専門・技術的職業	管理的職業	農林水産的職業
実 数	453	47	412	1,074	294	273	27	912
構成比	7.9	0.8	7.2	18.8	5.2	4.8	0.5	16.0

	サービスの職業	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	545	45	55	41	1,525	5,703
構成比	9.6	0.8	1.0	0.7	26.7	100.0

最も長く勤めていた職業も「技能工・生産工程に関わる職業」が18.8%で最も多いが、初職と比較すると2.7ポイント少なくなっている。また、「農林水産的職業」は16.0%と初職より2.3ポイント増加している。

22-1. 就業形態（現在の仕事）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	パート・アルバイト・臨時雇用・季節労働	自営業主	家族従業者	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	162	1,212	1,106	634	469	50	906	81	1,083	5,703
構成比	2.8	21.3	19.4	11.1	8.2	0.9	15.9	1.4	19.0	100.0

22-2. 職業（現在の仕事）

	事務的職業	保安的職業	販売的職業	技能工・生産工程に関わる職業	運輸・通信的職業	専門・技術的職業	管理的職業	農林水産的職業
実 数	302	40	266	854	256	244	50	957
構成比	5.3	0.7	4.7	15.0	4.5	4.3	0.9	16.8

	サービスの職業	その他	無職	学生	無回答	合計
実 数	454	60	903	78	1,239	5,703
構成比	8.0	1.1	15.8	1.4	21.7	100.0

22-3. 世代別就業形態（現在の仕事）

	経営者・役員	常時雇用されている一般従業者	パート・アルバイト・臨時雇用・季節労働	自営業主	家族従業者	その他	無職	学生	合計
30歳未満	0.6	39.7	24.2	3.0	8.5	1.7	11.4	10.9	726
30～40歳未満	2.7	33.3	28.5	7.2	10.9	0.8	16.4	0.2	622
40～50歳未満	3.8	30.8	26.8	14.4	10.8	1.2	12.0	0.1	976
50～60歳未満	5.2	26.2	24.7	19.0	10.1	1.4	13.4	0.0	1,138
60～70歳未満	4.9	12.5	23.3	19.1	8.5	0.6	31.2	0.0	721
70歳以上	2.2	4.0	8.6	15.6	14.1	0.2	55.3	0.0	405
合計	3.5	26.2	24.0	13.6	10.2	1.1	19.7	1.8	4,588

22- 4. 世代別職業（現在の仕事）

	事務的職業	保安的職業	販売的職業	技能工・ 生産工程に 関わる職業	運輸・ 通信的職業	専門・ 技術的職業	管理的職業	農林水産的 職業
30歳未満	10.6	1.3	8.0	19.4	1.7	10.1	0.1	12.7
30～40歳未満	11.6	1.5	6.7	22.0	6.2	5.4	0.5	14.1
40～50歳未満	7.9	1.1	5.8	19.5	8.4	6.4	0.7	23.5
50～60歳未満	5.2	0.6	6.8	21.6	6.7	5.4	1.9	25.3
60～70歳未満	2.6	0.4	4.7	19.0	6.7	2.3	1.9	24.3
70歳以上	0.3	0.5	1.3	6.5	1.0	0.8	1.3	28.2
合計	6.7	0.9	6.0	19.1	5.7	5.5	1.1	21.4

	サービスの 職業	その他	無職	学生	合計
30歳未満	13.4	0.6	11.3	10.8	715
30～40歳未満	12.1	3.0	16.7	0.2	610
40～50歳未満	12.0	1.8	12.8	0.0	960
50～60歳未満	10.7	1.2	14.8	0.0	1,076
60～70歳未満	6.0	1.0	31.1	0.0	688
70歳以上	2.3	0.3	57.5	0.0	386
合計	10.1	1.4	20.3	1.8	4,435

現在の職業では、「無職」が増えており、これは定年などで仕事を辞めた人が多いためと考えられる。「農林水産的職業」（16.8%）が「技能工・生産工程に関わる職業」（15.0%）を上回り最も多い職業となっている。

初職から一貫して、「専門・技術的職業」「管理的職業」「事務的職業」などのホワイトカラー職は少なく、ブルーカラー職に従事している人が多数を占めていることがわかる。

23. 現在働いている勤務先の従業員数を教えてください。

	自分1人	2～4人	5～9人	10～49人	50～99人	100～499人	500～999人	1,000人以上
実数	314	692	591	940	343	349	83	168
構成比	5.5	12.1	10.4	16.5	6.0	6.1	1.5	2.9

	官公庁	無職	学生	無回答	合計
実数	41	702	63	1,417	5,703
構成比	0.7	12.3	1.1	24.8	100.0

現在働いている勤務先は、いわゆる「零細企業」が多く、「大企業」に勤める人は数%しかいない。また、公務員も0.7%しかいない。

付属資料 4

24. 現在働いている職場で認められているものを教えてください。(複数回答)

	退職金	賞与	雇用保険	労災保険	年休	育児休暇	住宅手当	通勤手当
実 数	885	1,166	2,066	1,769	1,052	224	470	1,196
比 率	19.8	26.0	46.1	39.5	23.5	5.0	10.5	26.7

	わからない	どれも認められていない	無回答	データ数
実 数	222	698	1,224	4,479
比 率	5.0	15.6	27.3	100.0

「雇用保険」(46.1%)や「労災保険」(39.5%)などは比較的認められている職場が多いようであるが、それでも半数には達していない。また、賞与が出る人は全体の4分の1ほど(26.0%)であった。「どれも認められていない」という人も15.6%いる。

25. (現在仕事をされている方) あなたは転職を考えていますか。

	強く 考えている	少し 考えている	あまり 考えていない	全く 考えていない	わからない	無回答	合計
実 数	271	704	785	1,608	308	929	4,605
構成比	5.9	15.3	17.0	34.9	6.7	20.2	100.0

26-1. それはなぜですか。(複数回答)

	賃金が 低いから	上司と 合わないから	人間関係が よくないから	仕事が 過酷だから	休みが 少ないから	やりがい が見いだせない から	他にやりたい 仕事があるから	アイヌ差別が あるから
実 数	662	102	200	237	159	150	123	25
比 率	14.4	2.2	4.3	5.1	3.5	3.3	2.7	0.5

	賃金が 高いから	人間関係が よいから	仕事内容が よいから	休みを とれるから	やりがい があるから	他にやりたい 仕事がないから	その他	特に 理由はない
実 数	81	251	293	248	492	336	179	644
比 率	1.8	5.5	6.4	5.4	10.7	7.3	3.9	14.0

	無回答	データ数
実 数	1,790	4,605
比 率	38.9	100.0

26-2. 転職希望×それはなぜですか(複数回答)

	賃金が 低いから	上司と 合わないから	人間関係が よくないから	仕事が 過酷だから	休みが 少ないから	やりがい が見いだせないから	他にやりたい 仕事があるから
強く+少し考 えている	552 59.2	87 9.3	163 17.5	195 20.9	128 13.7	132 14.1	104 11.1
あまり+全く 考えていない	71 4.3	9 0.5	25 1.5	28 1.7	25 1.5	13 0.8	15 0.9
わからない	32 15.8	5 2.5	7 3.4	11 5.4	2 1.0	5 2.5	3 1.5
合計	655 23.6	101 3.6	195 7.0	234 8.4	155 5.6	150 5.4	122 4.4

	アイヌ差別が あるから	賃金が 高いから	人間関係が よいから	仕事内容が よいから	休みを とれるから	やりがいがあるから	他にやりたい 仕事がないから
強く＋少し考 えている	11 1.2	1 0.1	7 0.8	7 0.8	7 0.8	8 0.9	20 2.1
あまり＋全く 考えていない	7 0.4	79 4.8	240 14.6	284 17.3	234 14.2	479 29.2	302 18.4
わからない	2 1.0	1 0.5	3 1.5	2 1.0	6 3.0	4 2.0	12 5.9
合計	20 0.7	81 2.9	250 9.0	293 10.5	247 8.9	491 17.7	334 12.0

	その他	特に理由 はない	データ数
強く＋少し考 えている	67 7.2	55 5.9	933 100.0
あまり＋全く 考えていない	101 6.1	443 27.0	1,643 100.0
わからない	8 3.9	131 64.5	203 100.0
合計	176 6.3	629 22.6	2,779 100.0

転職を「強く」あるいは「少し」考えている人は21.2%であった。転職を考える理由としては「賃金が低いから」が最も多く、次いで「仕事が過酷だから」「人間関係がよくないから」などがあげられている。

27－1．現在、あなたの生活ぶりはいかがですか。

	苦しい	多少困る 程度	少しゆとり がある	豊かである	無回答	合計
実 数	1,911	2,308	912	76	496	5,703
構成比	33.5	40.5	16.0	1.3	8.7	100.0

27－2．世代別：現在、あなたの生活ぶりはいかがですか。

	苦しかった	多少困る 程度	少しゆとり があった	豊かであった	合計
30歳未満	27.0	48.4	21.4	3.3	823
30～40歳未満	33.9	46.2	18.7	1.2	664
40～50歳未満	39.3	44.6	15.2	1.0	1,049
50～60歳未満	38.4	42.5	18.1	0.9	1,277
60～70歳未満	41.6	42.6	14.7	1.0	870
70歳以上	37.8	41.8	18.5	1.9	481
合計	36.7	44.3	17.6	1.5	5,164

(再掲) 8-2. 世代別：(15歳のころ) あなたのご家族の生活ぶりはいかがでしたか。

	苦しかった	多少困る程度	少しゆとりがあった	豊かであった	合計
30歳未満	20.7	42.7	29.5	7.1	850
30～40歳未満	32.3	37.7	25.0	5.0	665
40～50歳未満	41.2	35.6	20.4	2.9	1,052
50～60歳未満	57.5	27.2	13.4	1.9	1,305
60～70歳未満	67.7	22.4	7.4	2.5	930
70歳以上	71.6	16.0	10.1	2.3	514
合計	48.4	30.7	17.5	3.4	5,316

参考. 北海道アイヌ生活実態調査

	とても苦しい	多少困る程度	少しゆとりがある	豊かである	無回答
平成5年調査	33.0	44.0	20.0	1.0	2.0
平成11年調査	31.0	49.6	18.0	0.7	0.7
平成18年調査	0.3	18.3	51.4	29.7	0.3
本調査	33.5	40.5	16.0	1.3	8.7

「苦しい」(33.5%)と「多少困る程度」(40.5%)が合わせて74.0%と多く、「豊かである」は1.3%にとどまるなど、生活ぶりはあまりよいとはいえない。15歳のころの生活ぶりと比較すると、「苦しかった」「苦しい」が45.4%→33.5%と減少する一方で「豊かであった」「豊かである」も3.2%→1.3%と減少している。生活ぶりに関する意識が均一化、それも「多少困る程度」に集約されているようである。

北海道が行った「北海道アイヌ生活実態調査」の結果と比較すると、「とても苦しい」が減少し「豊かである」が激増した平成18年調査から、それ以前の水準に戻っていることがわかる。平成11年から平成18年にかけてアイヌ民族の生活が豊かになったというよりは、平成18年の調査結果がイレギュラーなものであったと解釈した方が妥当と思われる。

28. 現在、あなたの家庭にあるもの。(複数回答)

	自家風呂	ラジオ	テレビ	パソコン	インターネット設備	冷蔵庫	エアコン	自転車	オートバイ
実数	5,030	3,888	5,311	2,115	1,414	5,159	435	3,538	391
比率	88.2	68.2	93.1	37.1	24.8	90.5	7.6	62.0	6.9

	自家用車	ピアノ	固定電話	FAX	携帯電話	どれもなし	無回答	データ数
実数	4,579	434	4,433	2,390	4,405	6	335	5,703
比率	80.3	7.6	77.7	41.9	77.2	0.1	5.9	100.0

テレビの普及率が93.1%と高くなっている。そのほか、「自家風呂」(88.2%)「冷蔵庫」(90.5%)「自家用車」(80.3%)が8割を超えている。

29. 現在困っていることはありますか。(複数回答)

	所得が 少ない	負債が 多い	自分の 健康	家族の 健康	結婚	仕事が ない	労働状況 が悪い	自分の進 学の問題
実 数	2,600	750	1,825	1,420	192	381	442	45
比 率	45.6	13.2	32.0	24.9	3.4	6.7	7.8	0.8

	子どもの 教育の問題	家族関係	職場・学校 の人間関係	近所づきあい	住宅の問題	生きがいが 見いだせない	アイヌ差別	その他
実 数	581	257	149	139	498	180	135	106
比 率	10.2	4.5	2.6	2.4	8.7	3.2	2.4	1.9

	特に困ってい ることはない	無回答	データ数
実 数	901	505	5,703
比 率	15.8	8.9	100.0

30. 困っていることをどなたに相談しますか。(複数回答)

	家族	アイヌの 友人・知人	アイヌでない 友人・知人	職場の上司	職場の同僚	近所の人	学校の先生	民生委員
実 数	3,084	541	864	127	297	159	53	81
比 率	54.1	9.5	15.1	2.2	5.2	2.8	0.9	1.4

	行政機関	アイヌ生活 相談委員	アイヌ職業 相談委員	アイヌ教育 相談委員	その他	誰にも 相談しない	無回答	データ数
実 数	147	290	95	34	105	985	867	5,703
比 率	2.6	5.1	1.7	0.6	1.8	17.3	15.2	100.0

「所得が少ない」が45.6%、「自分の健康」が32.0%と多くなっている。「アイヌ差別」をあげた人は2.4%であった。相談相手は圧倒的に「家族」が多く、54.1%であった。次に多いのは「誰にも相談しない」の17.3%であった。

31. この1年間のうち、次のような健康診断を受けましたか。(複数回答)

	会社で行う 定期健康診断	市町村で行う 健康診断	自費で受ける 人間ドック	その他	受けていない	無回答	データ数
実 数	1,863	1,035	369	233	1,823	516	5,703
比 率	32.7	18.1	6.5	4.1	32.0	9.0	100.0

「会社で行う定期健康診断」を受けた人が32.7%いる一方で、この一年間に健康診断を「受けていない」人も32.0%いる。

32. ふだん、あなたはたばこを吸いますか。

	毎日 吸っている	たまに 吸っている	かつて吸って いたがやめた	吸っていない	無回答	合計	常時喫煙者 平均
実 数	2,266	186	550	2,318	383	5,703	20.1本/日
構成比	39.7	3.3	9.6	40.6	6.7	100.0	-

付属資料 4

33. ふだん、あなたはお酒を飲みますか。

	飲む	かつて飲んで いたがやめた	飲まない (飲めない)	無回答	合計	飲酒者 平均酒量
実 数	2,606	386	2,313	398	5,703	2.86合
構成比	45.7	6.8	40.6	7.0	100.0	-

※「飲酒者平均酒量」は清酒換算。

たばこを「毎日吸っている」人は39.7%、「吸っていない」人は40.6%であった。毎日吸っている人は平均して一日20.1本とおおよそ一箱吸っている。なお、厚生労働省「国民健康・栄養調査」によると、男性の喫煙率は39.9%、女性の喫煙率は10.0%であった。

飲酒では、「飲む」人が45.7%、「やめた人」と「飲まない（飲めない）」人が合わせて47.4%であった。なお、「国民健康・栄養調査」によると男性の飲酒率は36.7%、女性は7.3%であった。

34. あなたがこの1年間にしたもの。(複数回答)

	パチンコ・ パチスロ	競馬	競輪	宝くじ	サッカー くじ (toto)	かつて していた	これまで 一度も したこと がない	無回答	データ数
実 数	1,527	380	12	1,444	88	847	1,695	612	5,703
比 率	26.8	6.7	0.2	25.3	1.5	14.9	29.7	10.7	100.0

この1年間に「パチンコ・パチスロ」をした人は26.8%、「宝くじ」を買った人は25.3%であった。北海道にほとんど競輪場がないためか、「競輪」をした人は0.2%であった。これらを一度もしたことがないという人も29.7%いた。

35. あなたは次にあげる資格を持っていますか。(複数回答)

	自動車 免許	自動車 二種免許	船舶免許	英検 (2級以上)	日商簿記	秘書検定	ボイラー 整備士	溶接士
実 数	4,232	493	625	55	308	33	51	209
比 率	74.2	8.6	11.0	1.0	5.4	0.6	0.9	3.7

	看護師	理学 療法士	保育士	介護 福祉士	ホーム ヘルパー	ケア マネージャー	調理師	栄養士
実 数	57	1	44	57	189	15	116	18
比 率	1.0	0.0	0.8	1.0	3.3	0.3	2.0	0.3

	理容師	美容師	その他	持って いない	無回答	データ数
実 数	19	61	555	731	525	5,703
比 率	0.3	1.1	9.7	12.8	9.2	100.0

圧倒的に持っている人が多いのは「自動車免許」(74.2%)であった。次いで、「船舶免許」(11.0%)や「自動車二種免許」(8.6%)が相対的に高かった。

36. 次に挙げる年金のうち、どれに加入・受給していますか。

	国民年金	共済年金	厚生年金	その他の年金	加入・受給 していない	無回答	合計
実 数	2,437	111	2,161	50	475	469	5,703
構成比	42.7	1.9	37.9	0.9	8.3	8.2	100.0

37. 次に挙げる健康保険のうちどれに加入していますか。

	国民健康保険	その他の 健康保険	加入して いない	無回答	合計
実 数	2,891	1,876	213	723	5,703
構成比	50.7	32.9	3.7	12.7	100.0

年金は「国民年金」が42.7%、「厚生年金」が37.9%であった。「加入・受給していない」人も8.3%いた。健康保険では国民健康保険が最も多く50.7%と過半数である。「加入していない」人は3.7%であった。

38. あなたご自身の年収。(税込み)

	なし	100万円 未満	100万円 ～ 200万円未満	200万円 ～ 300万円未満	300万円 ～ 400万円未満	400万円 ～ 500万円未満	500万円 ～ 600万円未満	600万円 ～ 700万円未満
実 数	930	1,026	1,079	961	468	230	127	72
構成比	16.3	18.0	18.9	16.9	8.2	4.0	2.2	1.3

	700万円 ～ 800万円未満	800万円 ～ 900万円未満	900万円 ～ 1000万円未満	1000万円以上	無回答	合計	平均
実 数	51	22	30	75	632	5,703	197.5万円
構成比	0.9	0.4	0.5	1.3	11.1	100.0	241.9万円

※「平均」上段＝全体の平均、下段＝年収なしを除いた有所得者の平均。

個人の年収は「100万円以上200万円未満」が18.9%と最も多く、また、300万円未満の人が70.1%を占めている。平均年収は197.5万円で、「なし」を除外した有所得者に限ってみても241.9万円であった。

39. 社会で成功するのに重要なことは何だと思いますか。(2つまでの複数回答)

	家柄・親 の地位	個人の 才能	個人の 努力	学歴	運や チャンス	有力者との つながり	その他	無回答	データ数
実 数	561	2,111	3,625	1,158	1,197	595	98	716	5,703
比 率	9.8	37.0	63.6	20.3	21.0	10.4	1.7	12.6	100.0

参考. 第7回世界青年意識調査(2003年・日本)

	家柄・ 親の地位	個人の才能	個人の努力	学歴	運やチャンス	わからない・ 無回答	データ数
比 率	2.8	53.6	75.6	9.1	40.1	2.0	100.0 (1,042)

「個人の努力」が63.6%と圧倒的に多く、次いで「個人の才能」(37.0%)「運やチャンス」(21.0%)であった。「世界青年意識調査」における日本の結果と比較すると、本調査では選択肢が1つ多かったためか回答が分散している。そのようななかで、「学歴」をあげる人が11.2ポイント高くなっていた。

40. あなたは次のような不公平が今の日本にあると思いますか。

		大いにある	少しはある	ない	わからない	無回答	合計
性別による不公平	実 数	920	2,259	859	570	1095	5,703
	構成比	16.1	39.6	15.1	10.0	19.2	100.0
学歴による不公平	実 数	1,904	1,883	477	465	974	5,703
	構成比	33.4	33.0	8.4	8.2	17.1	100.0
職業による不公平	実 数	1,464	1,958	678	529	1,074	5,703
	構成比	25.7	34.3	11.9	9.3	18.8	100.0
所得・資産による不公平	実 数	1,847	1,679	545	573	1,059	5,703
	構成比	32.4	29.4	9.6	10.0	18.6	100.0
家柄による不公平	実 数	1,328	1,757	890	620	1,108	5,703
	構成比	23.3	30.8	15.6	10.9	19.4	100.0
人種・民族による不公平	実 数	1,443	1,832	818	631	979	5,703
	構成比	25.3	32.1	14.3	11.1	17.2	100.0

「学歴による不公平」が「大いにある」「少しはある」という人が66.4%と最も多くなっている。「人種・民族による不公平」をあげたのは57.4%であった。

41-1. あなたは特定の信仰をお持ちでしょうか。(複数回答)

	アイヌ固有の信仰	仏教	神道	キリスト教	新宗教	キリスト教系新宗教	その他の宗教	信仰をもっていない
実 数	166	2,632	138	29	79	9	48	1,969
比 率	2.9	46.2	2.4	0.5	1.4	0.2	0.8	34.5

	無回答	データ数
実 数	771	5,703
比 率	13.5	100.0

※「その他の宗教」や「宗派」で具体的に名前があがったいくつかの宗教を、「新宗教」「キリスト教系新宗教」としてまとめた。それぞれの内訳は以下の通り。

41-2. 仏教宗旨

	浄土宗	浄土真宗		法華宗	日蓮宗	日蓮正宗	天台宗
		本願寺派	大谷派				
実 数	29	73	3	42	47	132	3
構成比	1.1	2.8	0.1	1.6	1.8	5.0	0.1

	曹洞宗	禅宗	真言宗	その他の宗派	宗旨無記入	合計
実 数	44	79	38	9	2,136	2,632
構成比	1.7	3.0	1.4	0.3	81.2	100.0

41－3．キリスト教宗派

	カトリック	プロテスタント	その他のキリスト教	宗派無記入	合計
実 数	1	3	1	24	29
構成比	3.4	10.3	3.4	82.8	100.0

41－4．新宗教・その他の宗教

	創価学会	崇教真光	霊波の光	立正佼会会	真如苑	モルモン教	エホバの証人	その他の宗教
実 数	66	2	3	1	6	1	8	4
構成比	48.5	1.5	2.2	0.7	4.4	0.7	5.9	2.9

	無記入	合計
実 数	45	136
構成比	33.1	100.0

信仰では「仏教」が46.2%と最も多かった。仏教のなかでは「日蓮正宗」（132人）や「浄土真宗」（73人（本願寺派、大谷派含む））が特に多い。「アイヌ固有の信仰」は2.9%であった。

42．下記のアイヌ伝統文化の宗教儀礼を実践したり、聞いたりしたことがありますか。

		現在も実践している	過去に体験したことがある	人の話やうわさ等で知っている	知らない	無回答	合計
クマ送り	実 数	63	425	1,834	2,345	1,036	5,703
	構成比	1.1	7.5	32.2	41.1	18.2	100.0
クマ以外の動物送り	実 数	38	193	1,071	3,242	1,159	5,703
	構成比	0.7	3.4	18.8	56.8	20.3	100.0
サケを迎える儀式	実 数	269	426	1,708	2,264	1,036	5,703
	構成比	4.7	7.5	29.9	39.7	18.2	100.0
伝統的な婚礼・葬儀	実 数	76	302	1,155	3,018	1,152	5,703
	構成比	1.3	5.3	20.3	52.9	20.2	100.0
伝統的な地鎮祭・新築祝い	実 数	119	357	976	3,086	1,165	5,703
	構成比	2.1	6.3	17.1	54.1	20.4	100.0
伝統的な先祖供養	実 数	530	612	1,034	2,487	1,040	5,703
	構成比	9.3	10.7	18.1	43.6	18.2	100.0
イナウを捧げる	実 数	424	541	985	2,677	1,076	5,703
	構成比	7.4	9.5	17.3	46.9	18.9	100.0
神々への祈り	実 数	432	496	1,270	2,450	1,055	5,703
	構成比	7.6	8.7	22.3	43.0	18.5	100.0
神聖な場所への祈り	実 数	282	332	1,070	2,885	1,134	5,703
	構成比	4.9	5.8	18.8	50.6	19.9	100.0
海・川・山でのタブーや約束事	実 数	190	185	923	3,261	1,144	5,703
	構成比	3.3	3.2	16.2	57.2	20.1	100.0
器物送り	実 数	96	156	749	3,507	1,195	5,703
	構成比	1.7	2.7	13.1	61.5	21.0	100.0
まじない	実 数	48	179	794	3,502	1,180	5,703
	構成比	0.8	3.1	13.9	61.4	20.7	100.0
占いや霊をおろす人にみてもらう	実 数	35	245	730	3,483	1,210	5,703
	構成比	0.6	4.3	12.8	61.1	21.2	100.0
夢見を大事にする	実 数	322	215	825	3,190	1,151	5,703
	構成比	5.6	3.8	14.5	55.9	20.2	100.0

「現在も実施している」人が最も多いのは「伝統的な先祖供養」(9.3%)であった。逆に未経験者が多いのは「器物送り」(61.5%)「まじない」(61.4%)「占いや霊をおろす人にみてもらう」(61.1%)などであった。

43. アイヌ文化の伝承活動・復興活動に参加したり実践したりしたことがありますか。

		現在関わっている	かつて関わったことがある	関わったことがない	無回答	合計
アイヌ語	実 数	307	724	3,618	1,054	5,703
	構成比	5.4	12.7	63.4	18.5	100.0
口承文芸（ユカラ、ウエベケレ等）	実 数	181	365	4,020	1,137	5,703
	構成比	3.2	6.4	70.5	19.9	100.0
歌（ウポボ、座り唄等）	実 数	361	550	3,698	1,094	5,703
	構成比	6.3	9.6	64.8	19.2	100.0
楽器（ムックリ、トンコリ等）	実 数	339	686	3,585	1,093	5,703
	構成比	5.9	12.0	62.9	19.2	100.0
踊り	実 数	431	727	3,484	1,061	5,703
	構成比	7.6	12.7	61.1	18.6	100.0
祭事（カムイノミ等）	実 数	546	805	3,322	1,030	5,703
	構成比	9.6	14.1	58.3	18.1	100.0
編み物	実 数	175	403	4,000	1,125	5,703
	構成比	3.1	7.1	70.1	19.7	100.0
刺繍	実 数	288	590	3,743	1,082	5,703
	構成比	5.0	10.3	65.6	19.0	100.0
織物	実 数	141	317	4,112	1,133	5,703
	構成比	2.5	5.6	72.1	19.9	100.0
伝統的狩猟・農法・漁法	実 数	132	308	4,117	1,146	5,703
	構成比	2.3	5.4	72.2	20.1	100.0
調理・保存法	実 数	306	624	3,684	1,089	5,703
	構成比	5.4	10.9	64.6	19.1	100.0
木彫	実 数	170	508	3,916	1,109	5,703
	構成比	3.0	8.9	68.7	19.4	100.0
自然観察会（エコツアー等）	実 数	120	259	4,179	1,145	5,703
	構成比	2.1	4.5	73.3	20.1	100.0

最も「現在関わっている」人が多かったのは「祭事（カムイノミ等）」(9.6%)であった。逆に、「関わったことがない」人が多かったのは「自然観察会（エコツアー）」(73.3%)「伝統的狩猟・農法・漁法」(72.2%)「織物」(72.1%)であった。

44. 上記の活動のうち、今後、関わりたいと思っているもの。(複数回答)

	アイヌ語	口承文芸	歌	楽器	踊り	祭事	編み物	刺繍
実 数	581	212	296	341	312	329	328	478
比 率	10.2	3.7	5.2	6.0	5.5	5.8	5.8	8.4

	織物	伝統的狩猟・農法・漁法	調理・保存法	木彫	自然観察会	無回答	データ数
実 数	355	303	459	430	475	4,161	5,703
比 率	6.2	5.3	8.0	7.5	8.3	73.0	100.0

今後関わってみたいものとしては「アイヌ語」(10.2%)が最も多くあげられている。

45. あなたにとって「アイヌプリ」とはどのようなことを意味しますか。

	わからない	次のようなことだと思う	無回答	合計
実 数	3,920	407	1,376	5,703
構成比	68.7	7.1	24.1	100.0

※自由回答の内容については、省略。

46. 現在お住まいのところにこれからもずっと住みたいと思いますか。

	住みたい	できれば 住みたい	できれば 住みたくない	住みたくない	わからない	無回答	合計
実 数	2,536	1,105	514	319	751	478	5,703
構成比	44.5	19.4	9.0	5.6	13.2	8.4	100.0

47. 住み続けたい、あるいは住み続けたくない理由は何ですか。（複数回答）

	生活環境が よいから	人間関係が よいから	親の面倒を みるため	土地や家があるから	アイヌ差別が ないから	うつる場所が ないから	生活環境が 悪いから	人間関係が 悪いから
実 数	1,902	1,013	619	2,252	342	639	229	127
比 率	33.4	17.8	10.9	39.5	6.0	11.2	4.0	2.2

	別の場所に 土地や家があるから	アイヌ差別が あるから	転勤が あるから	就職するから	よい仕事がないから	交通の便が 悪いから	結婚するから	その他
実 数	33	31	44	34	199	233	83	172
比 率	0.6	0.5	0.8	0.6	3.5	4.1	1.5	3.0

	特に理由は ない	無回答	データ数
実 数	407	1,027	5,703
比 率	7.1	18.0	100.0

44.5%と半数近くの人が、現在住んでいるところに住み続けたいと考え、「できれば住みたい」を加えると、63.9%になる。理由としては「土地や家があるから」（39.5%）「生活環境がよいから」（33.4%）などがあげられている。「アイヌ差別がないから」という人は6.0%である。逆に、「住みたくない」「できれば住みたくない」と答えた人は14.6%しかいない。続けたくない側の理由としては、「交通の便が悪いから」（4.1%）「生活環境が悪いから」（4.0%）などが相対的に多かった。「アイヌ差別があるから」は0.5%であった。

48. あなたのお子さんにはどの学校まで進学してほしいですか。

	中学校	高等学校	専門学校	短期大学・ 高専	大学	大学院	その他	わからない
実 数	12	1,011	616	440	2,053	138	55	506
構成比	0.2	17.7	10.8	7.7	36.0	2.4	1.0	8.9

	(子どもに 任せる)	無回答	合計
実 数	35	837	5,703
構成比	0.6	14.7	100.0

高校まででよいという人は17.7%であった。大学まで行かせたいという人が36.0%と最も多くなっている。また、選択肢としてはあげていなかったが、「その他」として「子どもの希望するところまで」「子どもに任せる」という人が0.6%いた。

49. 次に挙げるもののうち、あなたが日頃心がけているのはどのようなことですか。

	その日その日を自由に楽しく過ごす	しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く	身近な人たちと、なごやかな毎を送る	みんなと力を合わせて、世の中をよくする	その他	わからない	無回答	合計
実 数	1,004	1,424	1,571	309	63	795	537	5,703
構成比	17.6	25.0	27.5	5.4	1.1	13.9	9.4	100.0

「身近な人たちと、なごやかな毎を送る」ことをよしとする人が27.5%と最も多く、次いで「しっかりと計画をたてて、豊かな生活を築く」が25.0%と多かった。

50. 下記のアイヌ民族に関する施策のうち、あなたの考えに近いもの。(5つまで)

	アイヌ文化を学び、研究するための国立センターを設置する	アイヌ語・アイヌ文化などを学校教育に取り入れる	アイヌ民族を対象として農林水産商工業などを振興する	アイヌ民族の雇用対策を拡充する	アイヌ民族に対して高校・大学進学や学力向上への支援を拡充する	アイヌ民族が国有地・道有地などを自由に利用できるようにする	アイヌ民族が鮭などを捕獲できるように規制緩和をはかる	アイヌ民族への差別が起こらない人権尊重の社会をつくる
実 数	1,242	1,863	1,339	2,449	2,908	1,174	845	2,864
比 率	21.8	32.7	23.5	42.9	51.0	20.6	14.8	50.2

	アイヌ政策を審議するための常設機関を国及び地方に設ける	民族特別議席など、国政・地方政治にアイヌ民族の声を反映させる仕組みをつくる	アイヌ民族の土地・資源に対して補償を行う	アイヌ民族のみを対象にした特別な政策は行わない	その他	無回答	データ数
実 数	881	1,214	1,233	479	143	1,147	5,703
比 率	15.4	21.3	21.6	8.4	2.5	20.1	100.0

「アイヌ民族に対して高校・大学進学や学力向上への支援を拡充する」(51.0%)と「アイヌ民族への差別が起こらない人権尊重の社会をつくる」(50.2%)、「アイヌ民族の雇用対策を拡充する」(42.9%)などが特に多かった。